

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	頭頸部腫瘍患者の包括的調査		
1. 研究の目的と方法	目的：当院治療を行った頭頸部腫瘍の治療合併症を調査し、それにかかわる因子を確認することで、より適切な支持療法を行うことを目的とします。予後を明らかにし、予後因子を同定することで、今後の頭頸部腫瘍診療における治療決定の一助とし、より適切で選択的な治療介入をすることを目的とします。 方法：本研究は後ろ向きの観察研究で、電子カルテに記載のあるデータを用いて解析を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2030 年 12 月 31 日まで		
3. 対象となる方等	2017 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の期間に東京慈恵会医科大学附属病院で治療を行った 20 歳以上の頭頸部腫瘍患者を対象とします。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	性別、年齢、身長、体重、BMI、食事内容、喫煙、飲酒、既往歴、併存疾患、家族歴、頸部照射歴、原発部位、現病歴、EBV 感染の有無、p16 の免疫染色結果、cT、cN、cM、cStage、遠隔転移部位と個数、顔面神経麻痺の有無、Performance status、同時重複癌の有無、病理組織診断、治療内容、治療開始年月日、入院期間、手術内容、放射線治療内容、化学療法内容、光免疫療法、原発巣・外切開の有無、顔面神経切除の有無、頸部郭清術、再建術式、病理学的検査、血液検査、尿検査、培養検査、画像検査、内視鏡検査、嚥下機能評価、筋肉量、遺伝子変異、ホウ素治療歴、サイバーナイフ治療歴、血管内治療	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学講座
		氏名	長岡真人
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学講座 福里壮一郎	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 4 月～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学講座 研究責任者：助教 長岡 真人（ながおか まさと） 窓口担当者：大学院 福里 壮一郎（ふくざと そういちろう） 電話番号：03-3433-1111 代表番号：（内線）2268 耳鼻咽喉科医局（内線）9232 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。